

地域防災訓練実施計画を調査

総務常任委員長 茂木 信義

当委員会は、8月16日に委員会を開催し、9月2日に芝根小学校で行われる地域防災訓練について調査した。

調査経過

生活環境安全課長から、地域防災訓練に至るまでの経過及び実施内容について説明を受けた。
◎玉村町防災訓練については、昨年度図上訓練を実施した。

◎8月9日には、芝根地区自主防災組織にも参加してもらい、模擬訓練を実施した。

◎9月2日、防災訓練の実施計画書により、町としては初めての実地訓練を行う。当日は米飯500食、豚汁の炊き出し訓練も行う。

考察

◎町として初めての実地訓練

練なので、住民への広報を徹底すること。
◎炊き出し訓練の際、水道水を利用することだが、今後は水道水が使えないことも想定しての訓練も取り入れること。
◎警報訓練を取り入れること。
◎FMななみとの連携も考慮すること。
以上のことを、今後の課題にすることを望む。



洪水時に使用する資材を保管している烏川水防資材倉庫（川井地内）

伊勢崎市の住宅政策と境上武士市営住宅の建て替え状況を調査

経済建設常任委員長 関口 祝嘉

当委員会は、8月10日に伊勢崎市を視察し、同市の住宅政策と境上武士市営住宅の建て替えについて調査した。

調査経過

1. 伊勢崎市の住宅政策
地域住宅交付金の活用が出来るよう全戸を3分類し、低コストの建て替え事業を推進している。

・建て替え事業
昭和46年以前建築物

交付金利用
・リフォーム改善事業
昭和47年～58年建築物
交付金利用

・修繕事業
昭和59年以降建築物
市単費

また、老朽化により安全性などに問題のある住宅については統廃合を行い、土地の余剰部分を売却し、その売却益を住宅建設の原資に充てている。

2. 境上武士住宅団地建て替え事業

現在、構造・設備などの老朽化が進み、建て替えなど改善が求められている。し尿処理・雑排水処理も合併浄化槽によって処理を行う必要がある。

以上の観点から次のよう
な建て替え計画となった。

・1期工区平成16年度
木造2階建て2棟9戸
木造平屋建て1棟4戸

合計13戸完成済
・2期工区平成19年度
木造2階建て3棟12戸
平成20年度

木造2階建て2棟8戸
・3期工区 未定

考察

伊勢崎市の入居は抽選によっている。玉村町は申し込み順としているが、抽選方式のよい点を参考にしてみてはどうか。



境上武士市営住宅を視察する委員

補正予算審議

各会計の補正予算は、次のとおりとなりました。

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	97億2,868万円	△4,491万円	96億8,377万円
老人保健特別会計	19億 105万円	8,101万円	19億8,206万円
介護保険特別会計	12億6,671万円	1,680万円	12億8,351万円
下水道事業特別会計	11億6,330万円	1,629万円	11億7,959万円
水道事業会計	収益的支出 6億4,495万円	262万円	6億4,757万円
農業共済事業会計	収益的収入 8,344万円	23万円	8,367万円
	収益的支出 8,344万円	23万円	8,367万円

A 新入園児の保護者に対して、当然説明をし、理解していただいている。

A 給食費の納入については、新入学児童、新入園児の保護者に対して、当然説明をし、理解していただいている。

Q 当然だと思うが、町は保護者に対し、入学時などに毅然とした態度で指導、通達をしているのか。

Q 給食費の未納調査のため、53万円計上されている。調査を行うのは

質疑

A 池の管理は、当然指定管理の中に入っている。

Q 池も山もすべて公園の中にあるのだから、仕様書の不備は否めないのでは。

A 公園内の池に、藻が大量に発生した。原因は不明だが、来園者にきれいな池を見ていただくため、藻の撤去料を計上した。

Q 北部公園管理事業に、指定管理者委託料40万4000円とある。その内容は。

A 公園内の池に、藻が大量に発生した。原因は不明だが、来園者にきれいな池を見ていただくため、藻の撤去料を計上した。

いる。しかし、昨年までこのような状況がなかったため、池の藻の除去に関する費用を契約の中に盛り込んでいなかった。20万円以下ならば業者の努力でやっていたが、努力では賄えないほどの量が今年に限っては発生している。この件については、想定外だった。

いる。しかし、昨年までこのような状況がなかったため、池の藻の除去に関する費用を契約の中に盛り込んでいなかった。20万円以下ならば業者の努力でやっていたが、努力では賄えないほどの量が今年に限っては発生している。この件については、想定外だった。

いる。しかし、昨年までこのような状況がなかったため、池の藻の除去に関する費用を契約の中に盛り込んでいなかった。20万円以下ならば業者の努力でやっていたが、努力では賄えないほどの量が今年に限っては発生している。この件については、想定外だった。

いる。しかし、昨年までこのような状況がなかったため、池の藻の除去に関する費用を契約の中に盛り込んでいなかった。20万円以下ならば業者の努力でやっていたが、努力では賄えないほどの量が今年に限っては発生している。この件については、想定外だった。



池に大量発生した藻



北部公園の池

放課後児童クラブの現状と児童館の防犯対策

文教福祉常任委員長 三友 美恵子

調査経過

当委員会は、8月7日および9月10日に委員会を開催し、児童館の現状について調査した。

★放課後児童クラブの現状
放課後児童クラブは、平成6年の西児童館開設に伴い、児童館内で実施された。当初は30人程度であったが、毎年児童が増え続け、現在は70人を超えるところもある。普通に遊びに来る児童を合わせると、常時1

00人を超える子どもたちが児童館を利用している。現在は、児童1人あたりのスペースが極めて少なく、子どもたちが落ち着いて過ごせる状況ではない。西児童館については、スペース不足の解消に向けて、現在検討を始めている。今後、放課後児童クラブを利用する児童は減少しないと予想される。また71人を超える児童保育施設は、国の補助金が出なくなるので、分館をするように

との指導がある。
★児童館の防犯対策
不審者の侵入や職員が女性だけであることを考慮して、平成19年5月から5つの児童館に防犯カメラが設置された。

考察

時代とともに放課後児童クラブの必要性は増している。あらためて必要性を認識するとともに、職員、施設の規模などが、現在ぎりぎりのところで運営されて



児童館で遊ぶ子どもたち